



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986~'87 R.I 会長 M.A.T. カバラス
藤田会長 クラブターゲット 楽しく集う ロータリー

第 422 回 例会 61 年 11 月 20 日 第 428 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	43名	86%	100%

欠席者(7名)

橋本, 金井, 加藤, 三浦, 中西, 鈴木, 山中

本日のプログラム 11 月 27 日

平尾美也氏 「香水の話」

次週予定 12 月 4 日

11月29日の三クラブ合同例会に振替

司会 SAA 近藤富士男君

ソングリーダー 前原一男君「それでこそロータリー」

ビジター

近藤謙二君、小沢 茂君(横浜瀬谷)

渋谷米吉君(綾瀬)

岩瀬猛男君、長谷川 衛君(大和)

福田武辯君、古木明夫君、宮島国重君(大和田園)

《会長報告》

○29日の合同例会、奥様同伴で多数のご出席を。

○ガバナーより公式訪問の礼状が届き回覧。

○ソフトボール大会で楽しく過せました。

熊倉会員挨拶 ご尊父葬儀に際しての謝辞。

《幹事報告》

○理事役員会報告 地区より要請のWCS第2178
による援助金拠出はクラブとして会員の任意に
よる寄附とする。

○合同例会に是非出席を、来月4日振替休会、定

時総会は11日。

○青年会議所より賛助会員の募集並びに今月24日
の市民コンサートの案内を回覧します。

○当例会場の八千代信金さんにボーナス時でもあ
りますので預金等でご協力の程願います。

○先週より卓上の茶はウーロン茶に替ました。

《委員会報告》

○国際奉仕(上村) 当259 地区と友好関係にあ
るフィリピン第381・382 地区への援助金につ
きましてご理解とご協力の程、募金箱を廻しま
すのでよろしくお願います。

○親睦活動(辻) 惜しい試合でしたが、ソフト
ボール大会にお忙しい折参加下さいましてお礼
申し上げます。29日の合同例会未だ出席連絡の
ない方ご一考願是非出席下さい。

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：藤田重成
会長エグゼクティブ：富沢重徳
副会長：有沢昭三
幹事：土屋翁
会報委員：二見・前原・小林

お祝

おめでとうございます!!

お誕生日	布施光雄君	(11月23日)
	熊倉光男君	(11月23日)
御夫人誕生日	清水洋三君洋子夫人	(11月23日)
結婚記念日	古田土勝美君	(11月25日)
	清水洋三君	(11月26日)

《クラブフォーラム》

社会奉仕について

北砂社会奉仕委員長「R.C.における社会奉仕とは何だろう」というのが私の意図するところです。1905年に創立された当座は一業一人から4回続けて休めば会員資格喪失という今日迄続く大原則と、日常の会合は相互援助互恵主義というような例会クラブ運営であったようです。しかし2年後には早くも反省があり、ポールハリスはシカゴ市の利益を推進するという項目を定款に加え、対社会的な実践運動として公衆便所をつくる運動を始めたといわれています。その後「最もよく奉仕する者は最もよく報いられる」と「超我の奉仕」という2つの標語が生まれ、1915年にロータリー道德律が大会で採択されていわゆる理論派と行動派の2つの流れができ全米で大論争をまき起し結果として出てきたのが1923年の大会での34号議案です。セントルイス大会にナッシュビルが提出したこれがある有名なそして今問題になっている社会奉仕関係の決議23-34であって、理論派・行動派の双方の主張をうまく噛み合わせながらロータリーへの深い哲理とロータリーの基本的特色ともいうものを明瞭な文体によって結実させた記念碑的大文字となっています。それは、ロータリーとは何か、R.C.は何をするか、ロータリーの目的は何か、奉仕するものは行動しなければならない、各R.C.は絶対的自主権を有している、R.C.が団体活動する場合の指針を6項目に亘って述べてます。現在この決議が問題になっている背景はR.I.自身が奉仕活動の実施主体になろうとする強い願望が削除の動きとなっていることは明らかであります。

しかし今春の2月に開かれた規定審議会で社会奉仕に関する新方針声明を制定する件を突然取り下げてしまったわけで、3年に一度の審議会ですから現状のままあと3年は存続する訳であります。

社会奉仕の事例として、鶴見区の在宅寝たきり老人を巡回入浴車でさわやか運動としてロータリアン161名がのり出して改造費用の大部分を負担して奉仕したという例と、昨日(11/19)日経夕刊に載った埼玉県の例もあります。ただ実際に行くと実にいろいろな問題が出てくるのですが要は、地域のニーズに合致するもの、大和にどのようなニーズがあるか、いかにどの位地域社会に奉仕することが出来るのかが課題です。具体的には身障者の方と家族ぐるみで、小さな家族会をレクリエーションとして一日楽しく過してみたいと思っています。その節はロータリーファミリーとしてご協力下さい。

(後藤) 本来の奉仕は、口先だけでない精神と行動がともなって成立するものと考えます。

(上田) 今年度の諸活動については全面的に賛成趣旨もよく分りますがチョット気になるのは、私達ロータリアンの恵まれた家庭のお母さんやお子様のお母さん特になんか不用意な発言や会話が、身障者やその親御さん特になんかハンデを持つお母さんの気持ちを暗くしないかとの危惧をします。

(松崎) 私の家内も同じ意見でありました。

(北砂) 確かにご指摘の点は一理あります、純粋な気持ちで接しようではありませんか、互いに助け合っていることを自然に身につけたいと思います。

(亀谷) 市立図書館のロータリー文庫は私が会長の時創設したものです、より充実したものになるよう特段の配慮協力をして下さい。

(北砂) 皆様のご協力とご理解で来年の5月か6月にテストケースで行ってみたいと思います。

お詫び 本日の《スマイルボックス》は都合により次回に掲載します。 会報委員会